



Teaching Japanese as a Foreign Language

A.K. 社会システム学科 2年次

参加期間： 2017年8月11日～9月10日（4週間）

受入校： Mount Waverley Secondary College（Melbourne）

I. 教育実習について

私は7、8、12年生の授業に参加しました。12年生の授業では特別研究として、日本の大学受験やいじめ、不登校について学んでいました。私は生徒たちに日本の大学受験についてプレゼンテーションをしました。大学受験のシステムを理解してもらうためにどんな風に説明したらよいか戸惑いましたし、使う言葉を選ぶのも大変でしたが、私の話をとても真剣に聞いてくれて「わかりやすかった!」といってもらえたときはとても嬉しかったです。そして、頑張ったよかったですと感じました。さらに、このプレゼンテーションがきっかけで生徒との距離が一気に縮まり、積極的にコミュニケーションをとることができました。また、7、8年生を対象とした「Language Day」というイベントでトントン相撲のブースを担当させてもらいました。多くの生徒が興味をもって来て、体験することや聞くこと一つ一つにいい反応を示してくれるのがとても可愛らしかったです。ほかにも通常の授業でのお手伝いをたくさんさせてもらいました。発音や会話の練習、ワークブック、テストの採点など、様々なことを体験することができました。沢山お世話になったのは私のほうなのですが、学校最終日にある先生から「来てくれてありがとう」と言われ、泣きそうになるくらい嬉しかったです。

II. ホストファミリーについて

私のホストファミリーは学校の日本語の先生とその旦那さんでした。毎日一緒に学校に行っていたので車の中で沢山おしゃべりができました。旦那さんもすごく優しくフレンドリーな方で、よく一緒にゲームをしました。二人とも映画やドラマを観るのが好きらしく、毎晩寝る前に30分のドラマを2本観てから寝るのが習慣でした。はじめは英語の字幕を必死に追いかけていたのですが、だんだんと英語が聞き取れるようになってきたことに気づいたときはとても嬉しかったです。ホストの会話やその友人の話の横で聞いていても、メルボルンに着いたばかりのときと比べて話の内容や詳細が少し詳しく聞き取れるようになりました。たった4週間ですが、リスニング力はアップしたと思います。しかし、話を振られたときのレスポンスが思うようにいかず、伝えたいことがあるのに言葉が出てこず歯がゆい思いを沢山しました。アウトドア派のホストファミリーだったので、休日には色々な場所に連れて行ってもらいました。メルボルンの食べ物や観光もしっかり満喫できて大満足です。

III. 参加希望者へのアドバイス

行くかどうか迷っているなら行くべきです。大変なことも多いですが、すべて自分の成長につながるだろうし、自分の将来について考えるきっかけにもなりました。



Teaching Japanese as a Foreign Language

